

【プロフィール】

松野 恭信 (まつの やすのぶ)

1961年 東京都生まれ

埼玉県立 川越高等学校 卒業

北海道大学 工学部 原子工学科 卒業

北海道大学大学院 工学研究科 修士課程 (原子工学専攻) 修了



(国際学会発表)

International Symposium on Plasma Chemistry

[ISPC-8 / Tokyo, Japan / 1987](#)

[「PREPARATION OF CARBON FILMS WITH Ti DISPERSION BY COMBINED TARGET IN RF SPUTTERING」](#)

1987年、応用物理学会、日本原子力学会でも成果発表。

日本電信電話株式会社 (NTT) をはじめとして電気通信事業者、通信ソフトウェア開発会社、光ファイバーケーブルメーカーなどで勤務し、20年以上にわたり電気通信事業やIT事業に従事。

その間、デジタル交換機の收容設計、光ファイバーネットワークのグランドデザインの策定、新たな通信サービスの立上げ、アジア諸国との国際通信の相互接続交渉などを経験するとともに研修センターの技術指導教官としても活躍。

また国、地方自治体、業界団体の委員会メンバーとして情報通信政策の立案にも寄与。

事業企画や商品企画開発や営業の立場からも、IT・通信関連の製品やソフトウェアの売上アップに長きにわたり貢献。

特に、新たな顧客価値の開発や営業現場という視点を重視。

そのようなIT・電気通信事業をとおして次のような能力を修得。

- デジタル・ネットワーク技術に関する幅広い知識と経験に基づく技術対応
- 大規模なネットワーク構築に向けた実行管理
- 情報分析と仮説設定に富んだマーケティング

- 発想に富んだ企画力
- 部下のモチベーションを高めて組織力を最大化させるマネジメント

その能力を活かして、

I C T（情報通信技術）&人材育成コンサルタントとして2009年に独立。
企業向けに「通信事業支援コンサルティング」「組織の活性化支援プログラム」「社員の能力開発促進プログラム」を展開。

2014年より「営業力強化コンサルティング・サービス」を開始し、コンサルテーション・マネジメント・業務代行の3つのアプローチから企業の営業力を向上させると同時にマーケティングや事業・営業戦略にも言及。

現在、複数の企業の技術顧問および営業顧問として業績アップに向けてサポート中。

長年にわたるI C Tに関する取り組みや経験が評価され、2011年12月にはI C Tに関する次の本を中経出版（現 株式会社 KADOKAWA）よりビジネス書として商業出版。

『携帯電話がつかない本当の理由』

- 携帯・スマホにかかせないデジタル通信の基礎知識 -

シンクタンク「公益財団法人 未来工学研究所」

情報通信研究センター／政策調査分析センターの特別研究員として、

中央官庁、政府関係機関、地方公共団体、財団・社団法人、大学、民間企業からの様々な受託調査研究事業にも着手しているところ。

他にも執筆活動や講演活動を行い、おもな著書は次のとおり。

■ 『日本復活の鍵』

- 本質と向き合い成功を重ねるためには - （2010年9月 湘南社）

人文科学分野（さらに企業の社員教育に必要な方法論や基礎知識、および政治や政策などの国のあるべき姿にも言及）

■ 『携帯電話がつかない本当の理由』

- 携帯・スマホにかかせないデジタル通信の基礎知識 - （2011年12月 中経出版）

情報通信技術分野

2014年、株式会社 KADOKAWA より電子書籍化

2015年、株式会社 KADOKAWA より電子図書館サービスにも展開開始

■ 『こうすれば会社は潰れない！』

- I T ・ 通信の成功例から導き出した社内コンサルティングモデル - (2014年1月
郁朋社)
人材育成・組織マネジメント分野

また2010年より、ビジネスマン向けに考える力を養成する勉強会「信勇会」を主宰。

【実績】

1. 出版（主な著書）

■ 『日本復活の鍵』

- 本質と向き合い成功を重ねるためには - （2010年9月 湘南社）
人文科学分野（さらに企業の社員教育に必要な方法論や基礎知識、および政治や政策などの国のあるべき姿にも言及）

■ 『携帯電話がつながらない本当の理由』

- 携帯・スマホにかかせないデジタル通信の基礎知識 - （2011年12月 中経出版（現株式会社 KADOKAWA））
情報通信技術分野
2014年、株式会社 KADOKAWA より電子書籍化
2015年、株式会社 KADOKAWA より電子図書館サービスにも展開開始

■ 『こうすれば会社は潰れない！』

- IT・通信の成功例から導き出した社内コンサルティングモデル - （2014年1月 郁朋社）
人材育成・組織マネジメント分野

2. 新聞・雑誌・ネットメディアでの執筆記事や取材内容の掲載

- ① ネットメディア「HH News & Reports」（ハミングヘッズ株式会社）の取材を受けて、
[特集『スマホはどうつながっている？ LTE・IP 電話… 通信の仕組みを総ざらい！』](#)
（2012年2月20日発行）の記事に登場
- ② 国内唯一の光通信ビジネスの実務者向け専門誌「OPTCOM」（株式会社 工業通信 2012年5月号）の書評欄で、新刊[『携帯電話がつながらない本当の理由』](#)の紹介記事が掲載。東京ビッグサイトで行われたアジア最大級の第12回 光通信技術展（FOE2012）において特集号として配布
- ③ 中日新聞社「中日こどもウイークリー」（2012年8月18日 第55号）において、携帯電話・スマートフォンに関する記事の中で取材内容が掲載
- ④ 夕刊紙「日刊 ゲンダイ」の2014年2月26日付け書評欄で、新刊[『こうすれば会社は』](#)

[潰れない!』](#)の紹介記事が掲載

- ⑤ 国内唯一の光通信ビジネスの実務者向け専門誌「OPTCOM」(株式会社 工業通信 2014年5月号)の書評欄で、新刊『[こうすれば会社は潰れない!](#)』の紹介記事が掲載。東京ビッグサイトで行われたアジア最大級の第14回 光通信技術展(FOE2014)において特集号として配布
- ⑥ ビジネス誌の月刊「リベラルタイム」2015年7月号(6月3日発売)の特集「[いまだから儲かる新ビジネス](#)」において、『[人手不足の補完で広がる「通信事業」の未来](#)』というタイトルで執筆内容が掲載

3. 講演およびフォーラムの実施

- ① 2010年10月22日、NPO法人シニアジョブ主催の第34回シニアジョブ・セミナー&交流会においてタイトル『[デジタル通信革命](#)』で講演を実施
- ② 2011年2月2日、藤沢ロータリークラブ(神奈川県藤沢市)においてタイトル『今後のデジタル通信の行方』で講演を実施
- ③ 2011年9月21日開催の『[エネルギー政策フォーラム](#)』の構成団体として参加(信勇会の代表)
- ④ 2011年11月28日、NPO法人シニアジョブ主催の第45回シニアジョブ・セミナー&交流会(異業種人材交流会)においてタイトル『[『営業成績をアップしたいけど、どうすれば・・・?』 - 組織を活性化して成果を上げる!! -](#)』で基調セミナーを実施
- ⑤ 2012年3月10日、中経出版(東京都千代田区麴町)において出版記念セミナー『[『携帯電話が繋がらない本当の理由』 - 携帯・スマホにかかせないデジタル通信の基礎知識 -](#)』を開催

他に、企業や団体からの依頼を受け、ウェブなどで公開されない非公開の講演・セミナーも多数実施。

4. 国・地方自治体・業界の諮問委員会などへの貢献

- ① 2002年より、茨城県庁からの要請を受けて、
「茨城県における IX・iDC の地方分散および国際 IX 立地に関する研究会」委員として産業や地域振興における情報通信の占める役割を SCM の観点から検討
- ② 2006年より、総務省所管の独立行政法人 情報通信研究機構（NICT）が主催する
「次世代 IP ネットワーク（NGN）推進フォーラム」
[研究開発・標準化部会委員](#)および[戦略検討 WG 委員](#)として検討
- ③ 2008年より、日本電線工業会
「電子機器配線政策部会」会員として電子機器内部への光ファイバー普及に貢献
- ④ 2015年より、一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会が主催する
[「研究開発マネジメント委員会」委員](#)に委嘱

5. 発明

2007年1月、IP電話の利便性向上を目指し、以下のような通信技術を自ら発明して特許を取得

[「通信事業者網間の IP 端末相互接続装置及び相互接続方法」](#)（【出願番号】特願2007-7801）

以上1～5の実績以外にも、

2010年5月より、[ビジネスマン向けに考える力を養成する勉強会「信勇会」](#)を主宰。

[\[TOPに戻る\]](#)